

## 要 望 書

# 玄海原発の再稼働を認めないでください

## 「第三者委員会専門部会」に原発に慎重な立場の専門家を入れてください

2016年 11月 9日

佐賀県知事 山口祥義 様

原子力規制委員会は11月9日、九州電力玄海原子力発電所3・4号機の原子炉設置許可申請を了承し審査書案を決定しました。私たちは玄海原発の再稼働に絶対反対です。東京電力福島第一原子力発電所の事故は今日現在も収束せず、「原子力緊急事態宣言」が発令中なのです。あの悲惨な福島の原発事故を二度と繰り返してはなりません。

2014年1月6日に安倍晋三首相は「独立した原子力規制委員会によって世界最高水準の新しい安全基準が策定された」と述べました。しかし田中俊一規制委員会委員長自ら「基準の適合性は見えていますけれども、安全だということは私は申し上げません」と繰り返し述べている通り、決してこれは「安全基準」ではなく、事故の可能性を前提としたものです。原発の特異性は、万が一の事故が起きれば、放射能によって、私たちの命を育む大切な故郷の大地が何世代にもわたって汚染されるという取り返しのつかない事態になるということです。

原発の耐震設計の根幹となる基準地震動（想定する最大の揺れ）について、政府の地震調査委員会が「地震の規模や揺れを小さく見積もる恐れがある」として使用を避けた計算方式を、原子力規制委員会や電力会社などが使い続けていることが明らかになりました。このことについて、規制委員会は「（現行の方式を）見直す必要はない」と主張していますが、調査委員会の専門家は「規制委の判断は誤りだ」と批判しています（毎日新聞8月30日付）。今年4月には震度7が連発する熊本大地震が発生、気象庁は「今までの経験則から外れている地震」との見解を示しています。さらに、10月21日には鳥取地方で1000ガルを超える大地震が発生しましたが、この地震は活断層はないといわれている場所でも、予測を遙かに超えた破壊的な地震が起こりうることを実証したのです。玄海で巨大な地震が起きないという保証はどこにもありません。

9月3日には、「日本鑄鍛鋼」が製造した、稼働中の九電川内原発1・2号機を含む国内8原発13基の原子炉圧力容器に強度不足の疑いがあることも報道されました。その中には玄海3・4号機も含まれています。これは重大事故時に原子炉圧力容器が破壊するかもしれないという安全上の重大な問題です。フランスでは原子炉12基の運転停止を命じています。このように次々と原発の安全そのものに関わる疑念が明らかになっています。

さらに、3号機は危険極まりないMOX燃料を使うプルサーマルです。再稼働など断じて許すことはできません。

また、原発は動かせば動かすほど、処分方法の決まっていない核のゴミが増えます。10万年もの管理が必要です。これ以上核のゴミを増やすのは未来の世代に対してあまりにも無責任です。

県や、市、町などが策定している原発事故時の避難計画は実効性ある計画とはとても言えず、

規制委員会の審査の対象にもなっていません。被ばくを前提とした計画と言わざるを得ず、このままでは県民の命と財産を守ることはできません。ひいては地球上の生きとし生けるものすべての命を危険にさらすことになるのです。

原発は絶対に事故を起こしてはなりません。「原発の絶対安全基準」は存在しませんし、重大事故の被害は甚大ですから廃炉以外に道はありません。

原発はウラン採掘から廃炉まで被ばく労働で命を傷つけられる人々の存在を前提に稼働していることを私たちは忘れてならないと思います。

上記の点をふまえ、現在設置を検討されている原発再稼働に関する第三者委員会及び専門部会の構成をはじめ、原発に対して、知事には佐賀県民の目線に立ち、命を最優先とする慎重な態度を最後まで貫いていただくことを要望します。

### 【 要望事項 】

1. 玄海原子力発電所における再稼働を絶対に認めないでください。
2. 「第三者委員会」のメンバーには、原発に対して不安・不信の念を抱く人たちの声をきちんと届けることの出来る市民を是非入れてください。インターネットでの公開も含め、広く市民に開かれた委員会にしてください。
3. 「専門部会」の委員は第三者性を確保するためにも、九州電力や電事連と何らかの特別な関係のある人は除き、原発に慎重な立場の専門家を起用してください。市民の立場から専門家8名を推薦いたします（別添推薦者リスト）。
4. 原発のリスクや避難計画に関して、県民はほとんど説明を受けていません。全県下において、小学校区ごとなど、出来るだけ細かい単位での県主催の公開討論会を開催してください。

玄海原発対策住民会議（藤浦皓会長）

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会（石丸初美共同代表）

玄海原発反対からつ事務所（北川浩一代表）

原発を考える鳥栖の会（野中宏樹代表）

原発なくそう！九州玄海訴訟原告団（長谷川照原告団長）

佐賀県原発問題対策協議会（河西龍太郎会長）

さようなら原発 1000 万人アクション佐賀県実行委員会（原口郁哉委員長）

さよなら原発！佐賀連絡会（豊島耕一代表）

プルサーマルと佐賀県の 100 年を考える会（野中宏樹共同世話人）